

平成29年2月17日

公益財団法人 笹川記念保健協力財団
理事長 喜多悦子 殿

2016年度地域啓発活動助成

活 動 報 告 書

活 動 課 題

コミュニティカフェを拠点とした地域づくり

活動団体名： 特定非営利活動法人神戸なごみの家

活動者（助成申請者）名： 松本 京子

活動報告書

特定非営利活動法人神戸なごみの家
松本 京子

I. 活動の目的

地域の互助組織を構築し、孤独死を減少することに寄与する

II. 活動の内容・実施経過

平成 27 年 11 月 5 か年計画で地域の互助組織を構築するための足掛かりとして民家を活用したなごみカフェを開設した。

- ・ワンコインクラブ 健康チェック&飲み物 100 円 健康チェック&食事 500 円
- ・療養相談 地域の人の健康相談やがん療養相談
- ・がん&認知症予防サロン 月 1 回 がん患者や家族の語り合いやアロマ、個別相談
医師・看護師・栄養士・理学療法士によるボランティア活動

開催日：ワンコインクラブと療養相談は月・水・金の 10:00~16:00

対象者：だれでも自由参加可能とした

※開始 3 か月後より地域で認知されるようになり、月平均の延べ利用者 50~80 名

III. 活動の成果

- ①カフェを利用する人同士で知り合いとなり、認知症などの高齢者もがん体験者も共に気軽に声かけあうようになった
- ②自助組織構築に向けた 2 年目の目標であるカフェの認知と知り合いになる目標は達成できた
- ③独居の人が多い地域で癌の療養相談や治療後の憩いの場として活用され、利用者が増加している
- ④がん療養相談者は、その後の経過を報告に来たり、知り合った人同士がカフェを待ち合わせの場所に活用し楽しんでいる

IV. 今後の課題

- ①開設 3 年目はカフェを利用する人同士のつながりを強化し、お互いの連絡先を交換できるようになることを目標としている。新規利用者の受け入れと新たな仲間が増えること
- ②夏休み期間など利用者の少ない午前中に子供への活用を広めたい
- ③地域包括ケアセンターとの協力関係による引きこもりの人への見守り訪問の導入

V. 活動成果等の公表予定

平成 28 年 10 月死の臨床札幌大会においてポスター発表したが今後の発表計画はない